

安全に 海を守ろう がんばろう

神奈川県横浜市 小学 4 年
李 心怡

《作品について》

私は、14 番と 13 番を願って書きました。ゴミを海に捨てたら、魚たちがそれを食べて死んでしまったり、私たちが食べられる魚の量が減ってしまうと思ったからです。プラごみは、生ゴミみたいに燃えやすすくないし、小さくなくてもずっと残るから、マイクロプラスチックみたいに小さくなって魚が食べてしまうくらいだから、普段使うプラスチックを減らして、ゴミを出すことをなくしていきたいと思いました。スーパーの袋は、プラ袋が多いから、それを使えば使うほどマイクロプラスチックが増えてしまうと思いました。だから、私は、エコバックを持って買い物に行くように心がけています。他にも、喉が渴いた時に、その場で買わないで、自分の家から水筒を持っていくことをしています。世界みんながそう言う自分でできる努力をしたら、14 や 13 を達成できると思います。

電気オフ 地球の未来へ 意識はオン

神奈川県座間市 中学2年
レスコ ジョウ

《作品について》

節電しようや電気を無駄遣いしないとよく言われるが、何のためにそれらを行うのか考えると行動が変わるかとも思いました。

お下がりも 地球を救う 一歩かな

神奈川県座間市 41 歳

レスコ ちひろ

《作品について》

「お下がり」というとマイナスに取られる言葉でもあるかもしれませんが、使える物を捨てずに必要とする人が引き継いで使うというお下がりは「つかう責任」にピッタリ！これからポジティブに使っていきたい言葉だなと思い、この一句にしました。